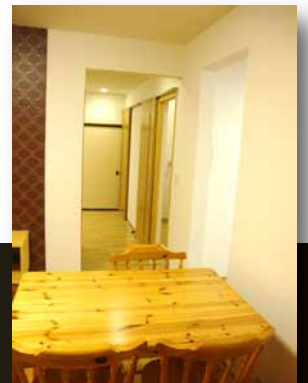




言いたいことが伝わる！リフォーム術 No.17

ふた間つづきが七変化 編

ふた間つづきの和室は、三十年前にさかのぼればよくある間取り。過去、大工さんは図面なんて引かずに家を建てたというのは、和室がふた間つづきで東に茶の間。北にキッチン、水周り。ほぼこのパターンでした。だから、誰も不思議がらず、当たり前がこの間取りが造られてきました。さて、この家も、大きさ的には大きめですがやはりそのような昔ながらの間取りの家でした。時が経ち世代は変わり、現代の暮らしには少し不便にあった間取りを大幅に変えました。困みに間取りを安易に変える事は非常に危険です。自重を支えるだけの構造ではなく、地震などの横揺れに耐えられるようにしなければなりません。それから、建物が横揺れした時の重心にあたる部分ほどのあたりか。また、構造体が一体になるよう木材の継ぎ目の弱い部分は無いかを確認し、金物で補強します。でも、お客様にとっては、生活の何がかわるかが問題です。リフォームでただ治したというのは今までの生活の継続になってしまいます。どう向上したかが問題です。そのあたりについては、またあとで資料をつくろうと思います。また、どのように変えたか知りたい方、何故そうしたかを知りたい方は[こちら](#)🐢...



外観 アップしてみてください



亀工房

<http://www.kame-kobo.jp>